

現在の景気：県内景気は、緩やかな持ち直し傾向が続いている。非製造業では、節約志向や自動車認証不正問題の影響もみられるが、観光や飲食などの対面型サービス業の回復が続いているほか、百貨店の販売も底堅く推移している。製造業では、生産活動に持ち直しの動きがみられる。この間、建設需要は、住宅着工に建設コスト上昇等の影響がみられるが、交通インフラ整備や物流施設などの官民プロジェクトの進展などを背景に、総じて底堅く推移している。

3 か月程度の見通し：非製造業は、物価高や人手不足の影響を受けつつも、対面型サービス業を中心に持ち直しの動きが続くとみられる。製造業では、持ち直しの動きが続くとみられる。

個人消費：①底堅い。②6月の県内百貨店（存続店ベース）の売上は、前年同月比5.4%増と2か月連続で前年を上回った。気温上昇に伴い、ブラウスやカットソーなどの夏物衣料や、日傘やサングラスなどのUVケア商品の売上が好調だった。7月入り後は、外出機会の増加により旅行用品や化粧品などの動きが活発化しているほか、各店舗は夏休み期間の催事開催にも力を入れている模様。6月の自動車登録台数は、同2.5%減と6か月連続で前年を下回った。一般乗用車（前年同月比2.1%減）、軽自動車（同3.3%減）ともに減少した。

住宅建築：①一進一退。②6月の新設住宅着工戸数は前年同月比12.2%増加し、2か月ぶりに前年を上回った。持家（同10.3%減）は減少したが、分譲（同43.5%増）、貸家（同4.9%増）が増加した。

設備投資：①堅調。②国土交通省の「建設着工統計」（非居住用）によると、6月の工事床面積（年度累計）は前年度比10.2%増、工事予定額（同）は同38.3%増と、ともに増加した。ひまわりベンチャー育成基金（調査研究部門：千葉経済センター）によるアンケート調査*では、24年度設備投資計画（6月末時点）は、期初計画から小幅に減額修正されたものの、23年度実績との比較では21.9%増となった。

公共工事：①増加基調。②6月の県内公共工事請負額（年度累計）は、前年同月比19.5%増加した。国（同57.9%減）は減少したが、独立行政法人等（同132.4%増）、市町村（同22.3%増）、県（同16.0%増）が増加した。

輸出：①増加。②6月の成田、千葉、木更津3港合計通関輸出額は、前年同月比21.3%増と8か月連続で前年を上回った。成田空港は、医薬品（同128.1%増）や半導体等製造装置（同84.7%増）などが増加し、同17.9%増と7か月連続で前年を上回った。千葉港は、石油製品（同1,083.6%増）やコンデンサー（同277.7%増）などの増加により、同113.5%増と10か月連続で前年を上回った。木更津港は、鉄鋼（同18.4%増）や粗鉱物（同6.3%増）などが増加し、同10.5%増と2か月ぶりに前年を上回った。

生産活動：①持ち直しの動き。②5月の県産工業生産指数（季調済、2020年=100.0）は、106.9（前月比4.2%上昇）と2か月ぶりに上昇した。化学工業（同3.0%低下）などは低下したものの、食料品工業（同11.7%上昇）や石油・石炭製品工業（同9.8%上昇）などが上昇した。

観光：①拡大。②県内の観光・宿泊施設は、好調な入込を続けている。鴨川シーワールドは、毎年夏恒例のシャチによる水しぶきイベント「サマースプラッシュ」（7月1日～9月1日）を例年より半月早めてスタートしたほか、千葉市動物公園は、7～8月限定の入園料割引を初めて導入するなど、集客に向け各観光施設が工夫を凝らしている。今夏の県内の海水浴場は、18市町村55箇所で開催予定（7月1日～8月31日）。

雇用情勢：①人手不足感が強い状態が続いている。②6月の有効求人倍率（季調値）は、前月比0.01ポイント上昇の0.98倍となった。有効求人数（同1.0%増）、有効求職者数（同0.3%増）ともに増加した。ひまわりベンチャー育成基金のアンケート調査*における雇用実績BSIは、大幅な「不足」超が続いている。

【トピックス】

- 東京国税局が発表した24年の路線価（1月1日時点）によると、千葉県内の標準宅地価は前年比4.0%上昇（全国6番目）と11年連続で上昇した（7月1日）。「津田沼パルコ」跡地前の「ぶらり東通り」（習志野市、15.4%上昇）など、県北西部の再開発地域の伸びが目立った。
- オリエンタルランドは、日本を拠点とするクルーズ船事業への参入を公表した（7月9日）。投資予定額は約3,300億円。クルーズ船の総トン数は約14万トン、客室数は約1,250室にのぼり、約4千人の乗客の受入れを見込む。造船開始は25年度、就航は28年度予定。
- イオンリテールは、2月に閉店した商業施設「ボンベルタ成田」を全面改装し、都市型SC「そよら成田ニュータウン」を成田市に開業した（7月19日）。売り場面積は35,730㎡、専門店数は約80店舗であり、同社が展開するそよら業態としては最大規模となる。

* 調査実施時期：24年6～7月。有効回答数205社。